



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月31日

上場会社名 株式会社アカツキ 上場取引所 東
 コード番号 3932 URL https://aktsk.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩田 元規
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 経営企画部担当 (氏名) 小川 智也 TEL 03-5422-7757
 四半期報告書提出予定日 2020年2月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	23,487	26.3	8,148	△1.8	8,056	△2.2	5,192	△10.1
2019年3月期第3四半期	18,596	16.4	8,302	5.0	8,237	5.0	5,775	2.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 5,335百万円 (△7.6%) 2019年3月期第3四半期 5,776百万円 (1.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	373.71	355.59
2019年3月期第3四半期	417.36	397.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	40,470	28,933	71.4
2019年3月期	37,843	23,757	62.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 28,906百万円 2019年3月期 23,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	40.00	—	10.00	50.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

当社グループは、主としてモバイルゲームを含む新規コンテンツの企画、開発及び運用を行っており、短期的な事業環境の変化が激しく、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であります。そのため、今後につきましては、四半期毎の決算や事業の概況の適時な開示に努めることにより、通期の業績予想については開示しない方針とさせていただきます。詳細につきましては、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	13,960,500株	2019年3月期	13,902,600株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	39,287株	2019年3月期	36,760株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	13,893,157株	2019年3月期3Q	13,839,147株

(注) 1. 株式給付信託（J-ESOP）により信託口が保有する当社株式（2020年3月期3Q：38,984株、2019年3月期：36,635株）を、自己株式に含めて記載しております。

2. 株式給付信託（J-ESOP）により信託口が保有する当社株式（2020年3月期3Q：33,195株、2019年3月期3Q：15,932株）を期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社の四半期決算補足説明資料は決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用情勢の改善や個人消費の回復及び設備投資の増加を背景に景気の緩やかな回復が見受けられたものの、中国経済の減速、英国の欧州連合（EU）離脱問題や米国発の貿易摩擦問題を背景に、2019年4月以降も景気動向指数は悪化を示すなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属するモバイルゲーム業界を取り巻く環境につきましては、2019年の世界のゲーム市場規模は前年比10.2%増の1,519億ドルへ成長するとともに、その中でも最も大きな割合を占めているモバイルゲームについては前年比16.6%増の820億ドルの市場規模へ成長することが見込まれており（出典：newzoo「Mobile Revenues Account for More Than 50% of the Global Games Market as It Reaches \$137.9 Billion in 2018」）、引き続きグローバルで成長し続ける業界であると考えられております。

このような環境の中、当社グループのモバイルゲーム事業につきましては、より高いクオリティとユーザー体験にこだわり、タイトルを厳選して開発・運用していく方針の下、既存タイトルの堅実な運用と新規タイトルの開発に努めてまいりました。2018年12月にリリースしました株式会社スクウェア・エニックスとの協業タイトル「ロマンシング サガ リ・ユニバース」につきましては、2019年12月の1周年記念イベントの開催により、ストアセールスランキング（注）1位を獲得するなど、モバイルゲーム事業の新たな収益の柱として好調に推移いたしました。また、2019年9月にリリースしました樺坂46・日向坂46応援[公式]音楽アプリ「UNI'S ON AIR（ユニゾンエア）」につきましては、リリース初日、及びTVCM放送に合わせた大型イベント開催時に、ストアセールスランキングで最高7位を獲得するなど、好調に推移いたしました。

一方、当社グループのライブエクスペリエンス事業（以下、「LX事業」という）につきましては、リアルエンターテインメント領域への取り組みを積極的に行っており、2019年3月にオープンしました横浜駅直通の複合型体験エンターテインメントビル「アソビル」でのコンテンツ「うんこミュージアム」を横展開するとともに、上海ヘライセンスアウトによる海外展開を行うなど、好調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高23,487百万円（前年同期比26.3%増）、営業利益8,148百万円（同1.8%減）、経常利益8,056百万円（同2.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,192百万円（同10.1%減）となっております。

なお、当社グループは、全セグメントに占める「モバイルゲーム事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメントごとの記載を省略しております。

（注）ストアセールスランキング：App Store またはGoogle Playのセールスランキング

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて2,626百万円増加し40,470百万円となりました。主な要因として、現金及び預金の増加398百万円及び投資有価証券の増加3,417百万円があった一方で、売掛金の減少630百万円及び有形固定資産の減少473百万円によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度に比べて2,548百万円減少し、11,537百万円となりました。主な要因として、納付等に伴う未払法人税等の減少2,419百万円によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて5,175百万円増加し28,933百万円となりました。主な要因として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上5,192百万円に伴う利益剰余金の増加5,052百万円、期末配当金の支払いによる減少139百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、モバイルゲーム事業・LX事業の短期的な事業環境が激しく変化する不確定要素が多いことに加え、新規領域で様々なチャレンジを実施して行く方針であり、適正かつ合理的な数値の算出が非常に困難であるため、2020年3月期の業績見通しにつきましては開示しない方針とさせていただきます。

なお、業績見通しが適正かつ合理的に算出できる状況になりましたら、適時に開示する方針でございます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,276	24,674
売掛金	6,127	5,496
その他	1,582	1,280
流動資産合計	31,985	31,452
固定資産		
有形固定資産	1,671	1,197
無形固定資産		
ソフトウェア	80	105
無形固定資産合計	80	105
投資その他の資産		
投資有価証券	2,876	6,293
その他	1,253	1,491
貸倒引当金	△24	△70
投資その他の資産合計	4,105	7,714
固定資産合計	5,857	9,018
資産合計	37,843	40,470
負債の部		
流動負債		
買掛金	636	1,288
1年内償還予定の社債	—	2,000
1年内返済予定の長期借入金	350	99
未払法人税等	2,868	448
賞与引当金	141	—
株式給付引当金	166	101
その他	2,103	1,796
流動負債合計	6,266	5,734
固定負債		
社債	5,000	3,000
長期借入金	2,808	2,733
その他	11	69
固定負債合計	7,820	5,802
負債合計	14,086	11,537
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,743	2,755
資本剰余金	2,742	2,754
利益剰余金	18,424	23,477
自己株式	△171	△217
株主資本合計	23,739	28,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3	137
為替換算調整勘定	△3	△1
その他の包括利益累計額合計	△7	136
新株予約権	25	26
純資産合計	23,757	28,933
負債純資産合計	37,843	40,470

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	18,596	23,487
売上原価	5,332	7,740
売上総利益	13,263	15,747
販売費及び一般管理費	4,960	7,598
営業利益	8,302	8,148
営業外収益		
受取利息	2	0
助成金収入	—	14
協賛金収入	—	4
その他	8	5
営業外収益合計	10	25
営業外費用		
支払利息	23	21
社債発行費	23	—
為替差損	15	16
投資事業組合運用損	9	26
貸倒引当金繰入額	—	46
その他	4	7
営業外費用合計	75	118
経常利益	8,237	8,056
特別利益		
事業譲渡益	30	43
投資有価証券売却益	—	682
特別利益合計	30	725
特別損失		
固定資産除却損	27	—
投資有価証券評価損	—	209
投資有価証券売却損	—	106
事務所移転費用	—	25
減損損失	273	650
特別損失合計	300	991
税金等調整前四半期純利益	7,966	7,790
法人税等	2,191	2,598
四半期純利益	5,775	5,192
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,775	5,192

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	5,775	5,192
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	140
為替換算調整勘定	△2	2
その他の包括利益合計	0	143
四半期包括利益	5,776	5,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,776	5,335
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、全セグメントに占める「モバイルゲーム事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。